

令和8年度 宇治病院 勤務医師の負担軽減計画

■ 医師と多職種との役割分担

- ・ 初診時の予診の実施（看護職員または事務職員）、静脈採血等の実施（看護職員）、入院の説明の実施（事務職員）、検査手順の説明の実施（看護職員または事務職員）、服薬指導（薬剤師）など
- ・ 超音波検査士（消化器分野）の資格取得
- ・ 薬剤師による病棟業務への積極介入、薬剤師の増員

■ 認定看護師・特定行為看護師の活動活性化

- ・ 認知症看護認定看護師、皮膚排泄ケア認定看護師、栄養関連特定行為看護師、呼吸器関連特定行為看護師、摂食嚥下障害看護認定看護師

■ 事務作業の負担軽減と効率化

- ・ 生成AIによる退院サマリーや診療情報提供書等の作成
- ・ 診断書管理システムによる書類作成業務の効率化

■ 医師の確保

- ・ 宿日直医の確保（常勤医師の宿日直免除継続）、褥瘡管理できる医師の採用

令和8年度 宇治病院 看護職員の負担軽減計画

- 看護職員と多職種との役割分担推進
 - ・ 看護補助者との役割分担推進
- 特定行為看護師・認定看護師の活動活性化
 - ・ 認知症看護認定看護師、皮膚排泄ケア認定看護師、栄養関連特定行為看護師、呼吸器関連特定行為看護師、摂食嚥下障害看護認定看護師
- 幅広い看護人材の活用
 - ・ プラチナナース、派遣ナース、非常勤ナース等の採用
- 機器導入による負担軽減と効率化
 - ・ 生成A Iによる記録業務の効率化
 - ・ インカム、見守りセンサー、ピクトグラム付床頭台の導入
 - ・ 転倒による骨折防止目的の緩衝マット導入
- 勤務環境の改善
 - ・ 病棟廊下の空調整備、インフォームド・コンセント部屋の確保、病床転換検討（20対1から10対1へ）、ベースアップ評価料を活用した処遇改善実施